

## 令和3年度 第3回 平塚市博物館協議会会議録

■ 開催日時 令和4年3月24日（金） 10時～12時05分

■ 開催場所 平塚市博物館 講堂

### ■ 会議出席者（敬称略）

会 長 平井 晃

副会長 安室 知

委 員 植田 育男、上間 則子、吉川 裕子、藤吉 敬子

事務局 浜野館長、杉山館長代理（管理担当長）、川端館長代理（学芸担当長）

■ 傍聴者 0名

### ■ 会議の概要

1 開 会 浜野館長挨拶

2 議 事

（1） 報告事項等について

- ・ 令和3年度秋期特別展
- ・ 第21回博物館文化祭
- ・ ホームページ・YouTube・SNS

（2） 令和4年度予定について

- ・ 令和4年度当初予算について
- ・ 令和4年度事業計画について

（3） その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

\* 閉会后、春期特別展の展示解説

### ■ 議事および質疑

#### 議題（1）報告事項等について

◆令和3年度秋期特別展の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 好きな分野だったので、興味深く見させていただいた。地質の分野は地震や災害など市民の興味をひくテーマがよかった。ちょっと難しい内容かなと思ったが、図録を見て、また何度も展示を見ることで知識が深まると思う。

委 員 多くの研究者の総合研究をもとにしたことで、共同研究の厚みが展示内容に見て取れる。この展示は巡回展なのか。他館で巡回する予定はあるか。

事務局 県内の博物館や地質関係の専門家による共同研究をもとにしているが、本展示は巡回展ではなく、本館（学芸員）の独自企画である。神奈川県立生命の星地球博物館では、この総合研究をもとに展示予定があるとは聞いている。

委 員 観覧者のアンケートを見ると、「ややむずかしい」と答えている人がいたが、図録の売り上げ

がかなり良かったとのことで、展示を補完する解説書としての図録の出来もよかったのだろうと思う。

- 委員長 好評な企画であったということがよくわかる。他館での巡回展にしたら面白いと思うが。
- 館長 各館の判断となろうが、担当学芸員には伝えさせていただく。アンケートや委員の意見にあったように私自身は難しい内容と感じた。図録の販売が好調だったのは、展示内容が充実していたことの現れと感じている。また、内容が濃密であったことから、家でまた読み直したいと考えた方が多かったということもあったかと思う。
- 委員 展示に「5分でわかる平塚学入門」に関連するテーマはないか。
- 事務局 地質分野のコンテンツは14タイトルあり、現在までに10タイトルが公開されている。今回の展示テーマに関連するものでは、「断層」や「地層」などのテーマがある。
- 委員 展示室で動画を流すのは難しいと思うが、リンクして紹介するようにすると、さらに効果があるのではないかと思う。
- 館長 特別展に合わせてYouTubeの動画をPRすることはしていなかったが、構成やアピールの仕方など検討したい。
- 委員長 アンケートを読ませてもらうと痛感する。どのような展示であっても、興味を持ってもらうこと、さらに知りたいと思ってもらうことが重要であり博物館の役割。

#### ◆第21回博物館文化祭の開催報告について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

- 委員長 広報にワーキンググループの募集記事があった。応募状況はどうか。
- 事務局 まだ、募集中ではあるが、募集定員をオーバーしているワーキンググループもある。
- 委員長 古文書のグループ（地域誌研究ゼミ）では、ある程度読めることが条件のようであるが、読めない人たちから読めるようにしていく方がよいのでは。
- 館長 古文書講読会、地域史研究ゼミの2つがある。古文書講読会では会員同士で読み方を学んだりする初級編の位置づけで、さらに意味や背景などを研究する地域史研究ゼミは中級編といった違いがあるので、初心者であっても古文書講読会なら大丈夫です。
- 委員 民俗分野のワーキンググループで博物館文化祭に参加した。昨年は開催できなかったので、2年分の成果を展示できて、これまでは負担に感じる部分もあったが、開催できてよかった。コロナのない日常が早く戻ってほしいと思う。
- 委員 活動を報告する場というのは、参加する方々のモチベーションという部分でも大切。
- 委員 コロナ禍で7グループも参加したのは素晴らしい。個人的に「聞き書きの会」も参加してほしい。
- 館長 「聞き書きの会」は文化祭には参加していないが、活動は継続していて、今年度も「聞き書き集」の第4集を刊行して、次の刊行に向けインタビューの準備も進めているところ。文化祭への参加についてもタイミングを見て進めていきたい。
- 委員 聞き書きでの個人情報などの取り扱いはどのようにしているのか。
- 館長 話者ご本人と親族に確認いただいて、編集側でも内容について気を付けているが、厳密にする

ことが必要になってくる。

委員長 祭囃子の実演は、どうだったか。

館長 ワーキンググループの演奏の後に、短い時間だが参加者にも太鼓をたたいてもらう体験をしてもらった。参加者に体験してもらうほうにも力を入れていきたい。

委員 平塚市の博物館は、博物館が展示するだけの場所ではなく、たくさんの人がいろいろな活動をしていてびっくりした。私自身もそういった活動に参加してすごく楽しかった。こういった活動を多くの人に知らせていくためにも、この博物館文化祭は良い取り組みだと思う。このことで、さらに活動に参加する人が増えるといいなと思った。

館長 参加団体が減ったのは、コロナで十分に活動ができなかったことが要因と思う。

委員 展示解説ボランティアが学校の団体にたいして解説を再開したそうだが実績は。

事務局 緊急事態やまん延防止の期間は活動を休止していたが、1月から再開したものの、また、まん延防止が発令され、再度休止することになったため、実績としては2校で3日間となった。

#### ◆ホームページ・YouTube・SNSについて事務局川端学芸担当長が説明資料により説明。

委員 「おうちで博物館」の企画は、次々とコンテンツを増やしていて素晴らしい。「5分でわかる平塚学入門」は76のタイトルのうち、すでに55本が公開されている。私の勤務先などもそうだが、コンテンツを増やしていくことはなかなか大変である。大変良い取り組みであるのだから、もっとアピールしては。「あなたと博物館」にも紹介はされているが、もっと大きく取り上げれば、さらに効果が上がるのでは。年間の閲覧数は3万件以上あり、博物館の来館者は4万人あまりであるので、来館へ結びつくよう考えてほしい。

事務局 毎月の紙面の中では、スペースの都合で大きく扱うことが難しいが、いずれかのタイミングで「5分でわかる平塚学入門」をまとめてお知らせする印刷物を検討している。

委員 「あなたと博物館」は白黒印刷だが、カラーでの印刷にすれば効果が大きく違うと思うがどうか。

事務局 「あなたと博物館」は、庁内の印刷室で印刷しているためカラー化は難しい。また外部に発注するとコスト的、編集時間的に難しい。

委員 カラーで拡大印刷したものが、駅前地下道に掲示されているが、他の場所にもあるか。また市役所の本館には掲示されているか。

事務局 他にはない。本館では配布は行っているが、掲示スペースが多くなく拡大したものは掲示していない。

委員 Twitterに非常に多くの投稿を行っているが担当者はきまっているのか。

事務局 主担当は1人だが、ツイート内容は各学芸員のアイデアを取り入れている。投稿するスキルは各学芸員とも理解している。

委員長 「5分でわかる平塚学入門」は非常によくできている。子供たちにもわかりやすいと思う。

委員 学芸員のやるが増えて、逆に心配になる。1つのタイトルを作るのに、どのくらい時間がかかるか。

- 事務局 「5分でわかる平塚学入門」の場合、早い学芸員だと30分程度で制作している。
- 委員 「流星」の即時的な発信は楽しみになる。平塚学入門はあらゆる分野でコンテンツを増やしていて、これだけのものを作る能力は素晴らしい。
- 委員長 藤井学芸員をはじめ全国に知られる平塚市博物館というのはすごいこと。

## 議題（2）令和4年度予定について

---

### ◆令和4年度当初予算について事務局杉山管理担当長が説明資料により説明

- 委員長 市としても厳しい財政状況にあると思うが、県下の他の博物館の状況は把握しているか。
- 事務局 過去に行っていたことがあったようだが、現在は行っていない。来年度も増額の予算を承認いただいた。予算以上の成果を果たせるよう取り組んでいきたい。
- 委員 数年前にクラウドファンディングを行って望遠鏡を購入していた。そういったことも、よい発想であったと思う。

### ◆令和4年度事業計画について事務局川端学芸担当長が説明資料により説明

- 委員 特別展などの企画はいつくらい前に決まっているのか。
- 館長 4・5年前くらいには、分野の担当を決め、2年前くらい前までにはテーマを決め具体化している。
- 委員 美術館との協働の展示を企画しては。すぐ隣に美術館がある利点を活用すれば、魅力的な企画ができるのでは。
- 館長 「3館コラボ」という博物館、美術館、図書館という文化ゾーン3館が共通のテーマで、展示などを例年夏に行っていたが、今年度は新型コロナのため取りやめた。来年度は「市制90周年」をテーマに行う予定だが、詳細は現在検討しているところ。過去、特別展などでは協働で展示したことはない。それぞれの展示計画があるので中・長期的に考えてきたい。
- 委員 「博物館法」の改正が、国会の委員会で可決され、来年の4月から施行されることになった。社会教育法に文化芸術基本法が取り込まれたことにより、博物館事業の見直し、殊に多様な連携と観光といった観点が表現されていて、博物館の運営にも影響がでることも考えられる。
- 委員 登録博物館は定期的に都道府県教育委員会に報告する義務が明記された。この協議会の協議内容などもわかりやすくオープンにすることになるかもしれない。

## 議題（3）その他

- ### ◆博物館の「将来的構想」について、来館者へのアンケート調査を実施した概要について事務局川端学芸担当長が説明。
- 

閉会后、春期特別展を新宮学芸員の案内で見学した。

配 布 資 料

# 令和3年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

令和4年3月24日（木）午前10時  
平塚市博物館科学教室

## 1 開会

## 2 議事

### （1）報告事項等について

- ・令和3年度秋期特別展
- ・第21回博物館文化祭
- ・ホームページ・YouTube・SNS

### （2）令和4年度予定について

- ・令和4年度当初予算について
- ・令和4年度事業計画について

### （3）その他

- ・事務連絡等

## 3 閉会

※会議終了後、春期特別展の展示を御覧いただきます。

以 上

## 2021年度 秋期特別展「神奈川の大地-1億年の記憶-」開催報告

会 期 2021(令和3)年10月23日(土)～2022(令和4)年1月10日(月)  
休館日:月曜日(1月10日(月)は開館)、12月29日(水)～1月3日(月)

主 旨 神奈川県は、複数のプレートがせめぎあう極めて特殊な場所に存在する。その複雑な大地の成り立ちについては、数多くの研究によって新しいことが明らかになることで、幾度も書き換えられてきた。これらの最新の成果は近年、神奈川県立生命の星・地球博物館が中心となって行われた総合研究計画によって、県内の博物館学芸員をはじめとする地質の専門家らの手によりまとめられた。本展示では、その成果に基づき、神奈川県の地質とその成り立ちに関する最新の知見を紹介した。

展 示 構 成 1章 神奈川県の大地 / 2章 県西部の大地 / 3章 県中央部・東部の大地 / 4章 神奈川県の大地の歴史 / 5章 地質の専門家による県内の地質・地形観察おすすめサイト

入 館 者	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
	大人	こども	合計			
10月	953	404	1,357	8	29.8%	170
11月	3,060	1,366	4,426	25	30.9%	177
12月	2,031	913	2,944	24	31.0%	123
1月	862	194	1,056	7	18.4%	151
期間計	6,906	2,877	9,783	64	29.4%	153

( 参 考 )	大人	こども	合計	開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
R3 夏	5,724	2,396	8,120	45	29.5%	180
R2 春	6,075	1,887	7,962	62	23.7%	128
R2 秋	4,247	1,199	5,446	50	22.0%	109

関 連 行 事 特別展記念講演会「神奈川県の大地を探る」 (参加48名)  
日時:12月18日(土)13:00～15:15  
講師:平田大二 氏(神奈川県立生命の星・地球博物館 館長/  
日本地質学会 副会長)  
藤岡換太郎 氏(静岡大学防災総合センター 客員教授)  
会場:博物館1階 講堂・科学教室  
野外観察会「神奈川県域ジオツアー【足柄エリア】」 (参加18名)  
日時:11月28日(日)13:40～16:00  
講師:田口公則 氏(神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員)  
場所:山北町谷峨周辺  
野外観察会「神奈川県域ジオツアー【三浦半島エリア】」 (参加18名)  
日時:12月4日(土)10:15～12:30  
講師:柴田健一郎 氏(横須賀市自然・人文博物館 学芸員)  
場所:三浦市油壺湾周辺

野外観察会「神奈川県域ジオツアー【箱根エリア】」 (参加 18 名)

日時:1月9日(日)13:00~16:00

講師:笠間友博氏

(箱根町立箱根ジオミュージアム 学芸員/神奈川県地学会会長)

場所:箱根町湯本周辺

特別展展示解説会

① 10月31日(日) 15:30~16:15 (参加 27 名)

② 11月14日(日) 15:30~16:15 (参加 27 名)

会場:博物館講堂

印刷物

図録「神奈川の大地-1億年の記憶-」

A4判 88頁 カラー 1000部 頒布価格 ¥500

開催期間内頒布部数:571部

(参考)R3夏 278部、R2春 187部、R2秋 200部

ポスター B3判 カラー 400部

リーフレット A4判 カラー 2500部

## アンケートの結果

回収枚数 131枚

回答者の住所 平塚市内 58名、平塚市外神奈川県内 55名、神奈川県外関東地方 13名  
(n=126) 関東地方以外 0名 海外 0名

回答者性別 男 64.1%、女 35.9%、  
(n=128)

回答者年齢 (n=126)	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	12名	9名	8名	9名	34名	26名	28名

情報の入手先 広報ひらつか 21名、博物館のホームページ 27名、あなたと博物館 3名、  
(複数回答可) SNS 13名、新聞等 13名、ポスター10名、口コミ 9名、その他 40名  
(n=136)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=126)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	89名	25名	10名	2名	0名
	70.6%	19.8%	7.9%	1.6%	0%

難 し さ (n=127)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	35名	47名	20名	21名	4名
	27.6%	37.0%	15.7%	16.5%	3.1%

総 合 評 価 (n=126)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	77名	37名	8名	4名	2名
	61.1%	29.4%	6.3%	3.2%	0.0%



## ご意見・ご感想(一部抜粋)

- ・ 山歩きが好きなので山なみの風景の写真といっしょに地質地形の話の学べるのは楽しいです。神奈川県内の登山の途中いっしょに見てみたい地形が増えました。県内の地域別や、時代別の違い変化を体験出来ました。生命の星・地球博物館が実施そうな展示を平塚博物館が展示会をやるのは不思議です。
- ・ 博物館の学芸員の活躍にビックリ。こだわっていることをもっと聞きたいと思った。イイね。ありがとうございました。
- ・ 複雑な神奈川の地層をとてコンパクトにわかりやすく展示にして下さり、感謝です！図録を買って帰って、もっとじっくり勉強します。平塚博物館って、すごい！
- ・ 大変興味がある場所・時代・地質でした。あまりにも内容が濃いので、図録を買って同じ内容が確かめながらみました。家で復習します。展示室にイスが欲しかった。読む、石を見る、立っていると疲れる。
- ・ 解説、講演とあわせて深く学べるのがありがたい
- ・ いろいろな化石についてしれたし、石の種類もたくさんあってよかった。
- ・ 住んでいる場所が地球の歴史まで遡れるなんて興奮しました。ブラタモリを見るときに思い出すことでしよう。ありがとうございました。
- ・ おもしろかったし、プレートのことがよくわかった。平塚市が海でびっくりした。
- ・ 石の実物展示が多かったのがうれしかった。カナガワピクテスの存在初めて知りました！
- ・ 地形・地層については、「ブラタモリ」などで紹介しているのをみて詳しく知りたいとは思っていたが、知識不足と観察力不足でなかなか機会を見つけられずにいた。美術館に来る予定ができたので博物館のホームページを見てみた。基礎〇〇などを知ることができそうな展示があるとあって、くることにした。やはり細かい部分はわからなかったが、いつの時期にどこで地形・地層の変化があったのか大まかに知ることができたので、それだけでも意義は高かった。学校で習って言葉だけ知っていたフォッサマグナの成り立ちも知ることができてとてもよかった。
- ・ 全然理解が追いついていきませんでした。なにか、「ここだけは」「これだけは」というものがわかればもう少し、理解・関心もよかったように思います。とにかく、あまりよくわかりませんでした(すみません)
- ・ 順を追って丁寧に説明されているし、原石標本などの展示も多く、とても難しい内容だが面白く見られた。出展などもあり、勉強になる。
- ・ 小学生の時から見てたので、たまに来てたのしく見れました。もっと面白い物やお話があれば見に来ます。
- ・ 沢山の種類があったのもっとも見たいとも思ったし、家族と「これすごいね」と話したりできてよかったです。次のてんじ楽しみです！
- ・ 各地域にピックアップして、土地の成り立ちを解説していただけたのは、すごく良い体験でした。詳しい反面、用語が難しい所もあったので、少し補足をいれたり、表現を工夫してもらえたりすると、良いのかなとは思いました。
- ・ 身近な場所で、古い歴史がわかることが良かった。色いろ特別展をやってくれるので、また足を運びたい。
- ・ もう少し化石標本を展示して欲しい
- ・ カナガワのプレート・地層が学べてよかったです。スライド上映は大変わかりやすく、興味がわきました。県立博物館とのコラボで素晴らしい展示があり、驚きました。平塚での化石や地層は身近な直に知らなかったのもまだまだ学びたいと思いました。
- ・ 大変興味深い、また素晴らしいものを見せていただきありがとうございました。わたしは地学が好きなのですが、それでも興味深いものの、良くわからないてもありました。ぜひ、このテーマで講演会や教室を開いていただけたらと思います(←関連行事あるそうですね。失礼しました)
- ・ 平塚とか神奈川のできかたがわかり勉強になりました
- ・ 地層などの位置がわかり地震などがどのプレートでどうなっているのかわかりやすくよかった。平塚が

まだ最近できたばかりの土地だというのには驚いた

- ・ 沢山の資料に見ごたえがありました。
- ・ 文章を読むのが大変すぎる。スライドで出しているのもいいが、プレートが沈み込んでいく動画にしてほしかった。
- ・ 大磯層での化石がいくつかあり、その中で、「こんなものが見つかるのか」と、初めて知ったのが、すごいあった。また、東京ゾーンで、魚の化石が、採れるということもそうでした。
- ・ とてもいい展示だった。とても参考になった。今年の広報を見て慌てて最終日に来ました。最近の地震状況などを鑑み、またあわただしくない時期に展示してほしい。
- ・ 映像で見れるコーナーがあるといい。
- ・ ①本特別展関連のわかりやすい書籍を発行願います。②専門家には当たり前ですが、語句がわからない。(例:上位/下位、ジャンプ等)素人にもわかるようにお願いします。難しくてもほとんどわからない。素人にも容易に理解できる展示会を望む。
- ・ 関連ポイントの地形・地質観察会を定期的に(会期中だけでなく)開催してもらえるとより理解できるかと。相模川流域(平塚・茅ヶ崎など)の砂、地質など、周辺の地形・地質について知りたい。
- ・ 秦野の「渋沢鉦山(閉山)」とありましたが、何の鉦山でどのように利用されたものが採掘されたのかを知りたかったです。生活に利用された歴史なら子供にもわかりやすいと思います。古代の海がどの辺りまで進出していたのか、歴史的にわかっている地震や災害の痕跡(について知りたい)
- ・ いつもながら素晴らしい内容と分かりやすい展示に感心いたします。松島先生の最後の写真も拝見し、懐かしくも淋しい思いをいたしました。
- ・ 丹沢山地は富士山形成と深い関係があるのに記述なし。酒匂川の流路は特にある。富士宮へ流れていたこと記述なし。丹沢山地の緑色凝灰岩※標本の展示なし
- ・ 貴重な化石や石が紹介されていて楽しめました。一度でいいので採石してみたいです。
- ・ 日頃見なれた景色の背景には色んな変化があり、プレート間の影響を受けてきたことがよくわかりました。県内の関係機関が連携して、平塚を取り囲む地域の様子も広域に見ることの大切さを、今回の展示からうかがい知ることができました。ありがとうございます。展示が終わっても博物館で継続して、神奈川の地質について講演会を開催してほしい。市民の防災、減災の啓発活動にもつながりますのでよろしく。
- ・ 県内の地質を分けてわかりやすく解説してあった。着目点が素晴らしい。実際の説明があるともっとわかる。
- ・ ちょうど大学の野外調査で見てきた辺りについてよく知ることができたので面白かった。何個かわからない単語があった。
- ・ 四万十帯の形成、丹沢山地、伊豆半島の変化がよくわかった。
- ・ 面白かった。少し明かりが暗かった。
- ・ プレートのジャンプを神奈川の地形にフォーカスして具体的に図示されていたのが興味深かった。
- ・ サメの歯をはじめて見ました。面白かったです。
- ・ 県全体の地質、地形がわかる良い企画だと思います。一時間半ほどいましたが、全部は消化できず、図録があって助かりました。家帰って復習します。本来ならば何回か来て少しづつ理解したいところでした。なお一月四日と寒い時期だったので長居はつらく、もう少し暖房とかあるとよかったです。県東部(多摩丘陵 etc)がもう少しあるとよかったような……
- ・ 神奈川の大地とてもよかったです。研究により大地の成り立ちや活断層によるこれまでの定説から変わった認識に至る経緯など、これからも活動の成果期待しています。神奈川が世界的にも特異な場所だと知りました。おもしろい！断層、日本の成り立ち(について知りたい)
- ・ 住んでいる土地の歴史には大変興味があるので楽しかった。
- ・ 内容が素晴らしく、大変勉強になりました。
- ・ 展示量、情報量が多くて充実した展示でした。一日では見終わらなかったのですが、いくつもの実物、複製化石の展示が見れて面白かったです。大磯地域の地質、化石(について知りたい)

- ・ 鉱物が好きで今回訪問しましたが、とてもわかりやすく、また研究員の皆様の熱意の伝わる展示でした。どうもありがとうございました。これからもさらなる発展をお祈りいたします。
- ・ なぜ「宇宙からみた神奈川」の写真を示して、大局面、位置、プレート境界を示さないのか、展示が説得力に弱さがある。
- ・ 解説のツアー(学芸員さんの)を希望(毎日)。第二回第三回とやっていただきたい。
- ・ 常設展示物は立体的に作られ、わかりやすい。ほかの博物館と違い優れている。ボーリングの土は新たに掘削されたときに公開を求める。現場も見たい。
- ・ 写真や図解でわかりやすい展示でした。
- ・ 大磯の浜の石の謎がわかってよかったです。付加体の話はじっくり見学しないと難しいですね。
- ・ 藤沢市に住んでいるけれど神奈川県のことあまり知らない。こういう展示を積極的にやってくれるとありがたい。
- ・ 丹沢の山々登山をきっかけにこの辺りの地質、石、歴史に興味が出てきて、ちょうどこの展示があってほんと良かったです！まさに今知りたかったことだらけ！！
- ・ 足元にこんなダイナミックな大地の働きの記憶が残されていることは素晴らしい。この気づきをどう活かすかですね。
- ・ 内容が多く理解するのが困難。簡単なリーフレット、1, 2ページくらいあると良かった。図録では時間がかかりすぎる。
- ・ 最新のデータが展示されていて楽しかったです。ありがとうございました。地学関係のいつも楽しみにしています。
- ・ とても面白かった。こうした神奈川県についての展示、この広すぎないところがこの博物館の良さだと思う。
- ・ 化石、特にカナガワピテクスという、めずらしいサルの化石、複製とはいえ見る事ができない、もじっくり見られて来たかいいがあったと喜んでます。
- ・ 久々に来ました。子供が今展示してあるのが面白かった、よかったと言っていたので、寄りました。とてもよかったです。
- ・ 石の材質がわかりおもしろかった。
- ・ 年代ごとにわかりやすく岩石の説明もよかった
- ・ 平塚住民の私たちの大地がいつできたかを知ることができ、意外と最近なのには驚いた。高齢者の私には少々難解で、もう一度来館する必要があるそう
- ・ 地道な研究の跡があり、非常に興味を持って見学させてもらいました。日本列島誕生の経年図がもうすこしあればいいかな、と思いました。(四章の展示を見て)ありがとうございました。
- ・ 図録があり、わかりやすい。パネルの解説は読んでもわかったように思っても後で疑問が出ます。その点文章で読めるので良いです。編集は大変ですが、次回も期待しています。日本列島の大地の動きをもう少し具体的に知りたい。いままでジュラ紀堆積物が原岩とされていた三波川変成帯は原岩が四万十帯とわかったようなので、よろしくお願いします。
- ・ とてもわかりやすく、字も大きくて見やすかったです。神奈川の大地がどのようになっているか知ることができました。ありがとうございました。またいつか火星に関する展示をお願いいたします。
- ・ ジャンプしたと書いてあるが、飛び跳ねたと理解していいのか。もっと説明せよ。
- ・ 「プレート境界」の意味がやっと分かった。これまで太平洋プレート、北米プレート、大陸プレートフィリピンプレートの境界と思っていた。そうではなかったのですね。
- ・ 通りがかりでフラッと入ってみてこのようなものを見ることができ、面白く、よかったです。
- ・ 仏像構造線についてわからない。どこから仏像を引っ張ってきたのか、各帯に挟まれ、何を意味しているのか。黒瀬川帯はある程度わかります。
- ・ 古代からの神奈川の大地の歴史がたくさん資料や模型などでとてもわかりやすく解説されており非常に興味深かった。

「第 21 回博物館文化祭－ワーキンググループ活動 展示・報告会・実演－」開催報告

- 1) 会 期 令和 4 年 2 月 5 日 (土) ～20 日(日)
- 2) 展示会場 平塚市博物館 特別展示室
- 3) 主 催 平塚市博物館
- 4) 主 旨 博物館で活動する会員制ワーキンググループが、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催。

5) 参加ワーキンググループ

平塚の古代を学ぶ会 古代生活実験室 天体観察会 展示解説ボランティアの会  
石仏を調べる会 民俗探訪会 祭りばやし研究会 (実演のみ)

(以上 7 団体、前回より 3 団体減)

- 6) 運営状況 例年、参加ワーキンググループから選出された実行委員で実行委員会を組織し準備と運営を行っていたが、一昨年からのコロナ禍のため、今回は担当学芸員を介して運営する方法を採った。

開催告知用ポスターは、各ワーキンググループにデザインを募った結果、7 種類のデザイン (古代生活実験室、石仏を調べる会、天体観察会、民俗探訪会が作成) が集まり、庁内カラーコピー機で計 400 部印刷した。ポスターは市内の広報掲示板への掲示をはじめ、市内の小中学校と公民館へと送付し (例年は市外の図書館・博物館にも送付) 行事の周知に努めた。パンフレットは A5 縦判 12 頁とし、白黒印刷で 300 部印刷して博物館受付や特別展示室で配布するとともに、ポスターの発送時に同封して行事の周知に努めた。

展示は、各ワーキンググループの活動成果を実物資料や模型、写真、ポスター形式の説明で紹介した。展示参加ワーキンググループは 6 団体で、実演のみの参加となった祭りばやし研究会を加えると合計 7 団体 (前回 10 団体) であった。

一昨年に引き続き展示会場に質問掲示板を設置した。観覧者が展示内容への質問や意見を質問用紙に記入してホワイトボードへ掲示し、それをワーキンググループ会員または担当学芸員が回答して再掲示するというもので、質問と回答を全体で共有することを主な狙いとした。会期中に 6 件 (前回 4 件) の質問用紙が掲示され、回答は Twitter でも行った。

活動報告会は今回 1 グループのみとなった。「相模国庁」の模型を製作した平塚の古代を学ぶ会が活動成果を発表し、事前申込制で 22 名が聴講に参加した。実演は 2 件 (前回 1 件) で、天体観察会の「太陽黒点を見よう」は、当日整理券制で 4

回行い、延べ 51 名が参加した。祭りばやし研究会「古民家でお囃子を聞こう！」には、当日整理券制で 18 人が観賞した。

会期中の入館者は 1,717 人（前回 2,679 人）、一日平均 123 人（同 179 人）だった【表 1】。

【表 1】過去 8 年間の文化祭入館者数

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	1 日平均	参加団体数
R3 年度（2022 2/5～2/20）	1,396 人	321 人	1,717 人	14 日	18.6%	122.6 人	7
R2 年度 開催中止	-	-	-	-	-	-	-
R1 年度（2020 2/8～2/24）	2,269 人	410 人	2,679 人	15 日	15.3%	178.6 人	10
29 年度（2018 2/4～2/18）	1,549 人	485 人	2,034 人	14 日	23.8%	145.3 人	12
28 年度（2017 1/14～1/22）	1,421 人	670 人	2,091 人	8 日	32.0%	261.3 人	12
27 年度（2016 2/6～2/21）	2,279 人	1,036 人	3,315 人	14 日	31.3%	237.0 人	12
26 年度（2015 2/1～2/15）	1,697 人	656 人	2,353 人	13 日	27.8%	181.0 人	11
25 年度（2014 2/2～2/16）	1,200 人	451 人	1,651 人	13 日	27.3%	127.0 人	13

#### 7) 展示ワーキンググループとタイトル

ワーキンググループ名	展示タイトル
平塚の古代を学ぶ会	「遂に完成！相模国庁」
展示解説ボランティアの会	「トビラの中の小さなヒラツカ 2」
天体観察会	「2021 年度天体観察会の取り組み」
古代生活実験室	「2020・2021 年度の活動報告」
民俗探訪会	「平塚の景観の変化を訪ねる」
石仏を調べる会	「平塚の石仏めぐりマップ No. 6～11」

#### 8) 活動報告会 2 月 13 日（日）13 時 30 分～14 時 20 分

会場：講堂 参加者 22 人（前回 97 人）

時間	発表ワーキンググループ	発表タイトル	発表者
13:30	平塚の古代を学ぶ会	「復元！？相模国庁」	栗山 雄揮

9) 実演 当日整理券制 参加者 69人 (前回は雨天中止)

ワーキンググループ名	タイトル	日時	会場	人数
天体観覧会	太陽黒点を見よう	2月6日(日) 10:00~14:00:4回	屋上	51人 (前回雨天中止)
祭りばやし研究会	古民家でお囃子を聞こう!	2月12日(土) 15:30~15:45	相模の家	18人

10) 印刷物:

・パンフレット:A5判12頁 庁内印刷 300部 ・ポスター:A3判 庁内カラーコピー 400部

11) 来場者アンケート結果:

○回収枚数 16枚 (前回13枚)

○記入者の住所 平塚市内15人、平塚市外県内0人、県外関東地方1人、関東地方以外0人

○記入者の性別 男性12人、女性3人

○開催情報の入手 (\*複数回答有)

広報ひらつか	博物館HP	あなたと博物館	新聞等	ポスター	SNS	知らなかった	その他
9人	3人	4人	0人	1人	0人	0人	1人

○満足度

興味深い	やや興味深い	ふつう	ややつまらない	つまらない
11人	3人	1人	1人	0人

○むずかしさ

とてもわかりやすい	わかりやすい	ふつう	ややむずかしい	とてもむずかしい
6人	6人	3人	0人	0人

○年代

~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
1人	0人	1人	2人	1人	3人	6人	1人

○総合評価

とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
9人	4人	2人	1人	0人

<感想・ご意見>

- ・相模国府模型作成大変感銘を受けました。
- ・時間をかけてじっくり見たい。
- ・博物館での皆様の熱心さが伝わります。いつも興味を持っています。家のすぐ近くに国府があったので興味があります。

- ・とても見やすかった。
- ・座敷に上がって聞けたのが良かった。実際に叩く体験が出来てよかった。
- ・博物館のスペースを広げゆったり展示できるようお願いしたい。
- ・楽しく閲覧することができ、有難うございます。また、質問にもお忙しい中親切に対応して頂き感謝しております。
- ・地道な活動の成果が見られ勉強になりました。WG の活動が博物館の充実に大きな役割を果たしていることがわかりました。

<調べたい・知りたいと思っていること>

- ・郷土史や自然
- ・学校に所在する文書、記録
- ・平塚宿となる前の平塚のこよみが知りたいです。
- ・平塚市の風景。
- ・国府（奈良時代）の平塚の様子をもっと知りたいです。
- ・日本の言語の起源について。石器縄文の文化の推移。

## 令和4年度 社会教育部予算構成

	(単位:千円) 令和3年度当初	(単位:千円) 令和4年度当初	(単位:千円) 前年度比
一般会計当初予算 合計	90,240,000	88,090,000	-2,150,000
教育委員会予算(教育費) 合計	9,434,518	7,949,473	-1,485,045
<b>社会教育部(職員給与費除く) 計</b>	<b>1,594,989</b>	<b>1,515,118</b>	<b>-79,871</b>
<hr/>			
<b>社会教育費(職員給与費除く)</b>	<b>1,448,047</b>	<b>1,360,163</b>	<b>-87,884</b>
社会教育課・・・社会教育総務費	50,352	50,715	363
中央公民館・・・公民館費	866,638	708,816	-157,822
中央図書館・・・図書館費	294,189	348,439	54,250
博物館・・・博物館費	82,056	87,733	5,677
・・・市史編さん費	5,652	11,010	5,358
美術館・・・美術館費	149,160	153,450	4,290
<hr/>			
<b>保健体育費(職員給与費除く)</b>	<b>146,942</b>	<b>154,955</b>	<b>8,013</b>
スポーツ課・・・保健体育総務費	46,067	54,084	8,017
・・・体育施設費	100,875	100,871	-4



## 令和4年度各事業の概要と予算

事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1 博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和4年度は、「野鳥愛」をテーマにした特別展など3回を開催します。	5,362
2 博物館教育普及活動推進事業	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。	33,006
3 博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4 博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。令和4年度は、自動火災報知設備受信機などの修繕を行います。	47,530
5 博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,665
6 市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。 令和4年度は平塚市史「別編寺社(2)」を発刊します。	11,010
<b>総計</b>		<b>98,743</b>

## 博物館 令和4年度歳出予算一覧

### 博物館特別展事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	486	486	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	54	54	0
消耗品費	特別展示用消耗品	640	640	0
印刷製本費	図録等印刷代	3,281	3,258	-23
通信運搬費	資料等運搬費	88	88	0
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	780	780	0
原材料費	展示等作成用原材料	56	56	0
事業費計		5,385	5,362	-23

### 博物館教育普及活動推進事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2,361	2,361	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	249	269	20
消耗品費	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	1,149	1,049	-100
印刷製本費	ポスター・出版物、写真D P等	1,892	1,790	-102
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	2,315	2,428	113
通信運搬費	寄贈資料等運搬費、アンケート調査郵送費	44	212	168
委託料	資料等保存処理委託等(金属器・D 5 2・剥製等)	335	1,123	788
使用料賃借料	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	23,574	23,337	-237
原材料費	展示等作成用原材料	49	49	0
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
	プラネタリウム投影機器買取(31年度)			0
負担金	博物館協会等年会費等	88	88	0
事業費計		32,356	33,006	650

### 博物館協議会事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報酬	博物館協議会委員報酬	170	170	0
事業費計		170	170	0

### 博物館管理事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員	698	715	17
旅費	会計年度任用職員通勤手当	39	39	0
消耗品費	管理用事務用品等	378	428	50
光熱水費	電気・ガス・水道代等	7,832	7,722	-110
物品修繕料	備品等修繕料	300	300	0
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料等	1,500	6,513	5,013
通信運搬費	電話・F A X代等	384	335	-49
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	48	48	0
保険料	建物総合損害共済分担金	51	52	1
委託料	施設管理委託料等	30,098	30,227	129
使用料賃借料	施設リース料(城島プレハブ)等	1,152	1,151	-1
事業費計		42,480	47,530	5,050

### 博物館情報システム事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	168	168	0
消耗品費	W E Bシステム用消耗品	34	34	0
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	121	121	0
使用料賃借料	W E B関連機器リース料	1,342	1,342	0
事業費計		1,665	1,665	0

### 市史編さん事業

費目	主な支出内容	R3予算	R4予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員報酬	2,094	2,144	50
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	445	429	-16
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	2,602	2,482	-120
旅費	会計年度任用職員通勤手当	116	58	-58
消耗品費	事務用品等	156	166	10
印刷製本費	資料等印刷代	100	5,602	5,502
通信運搬費	図書館施設電話代	55	55	0
委託料	OA機器保守委託料(複合機)	74	74	0
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	10	0	-10
事業費計		5,652	11,010	5,358

●ホームページと YouTube・SNS

表1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	25,341	28,945	26,819	30,766	34,800	28,219	23,259	19,940	18,065	21,994	18,155	18,921	295,223
2018	20,475	25,132	29,789	32,176	33,089	21,153	23,105	18,716	17,535	20,503	17,944	22,199	281,816
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205		290,202

※(斜線はデータ消失のため、該当データを除く2015~20の平均値で補完) 2月末現在

表2 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube 視聴回数

年度	閲覧数 (2016年3月まで7,941)												総閲覧数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	510	359	523	475	345	435	3,099	9,774	1,749	9,833	1,130	30,286	58,518
2018	12,521	834	603	2,159	3,615	555	1,615	3,047	1,527	2,176	615	830	30,097
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596		48,064

開始(2011/1/9)から2022年2月末までの累計205,724

表3 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数 (2016年3月まで10)												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2017	1	0	1	1	0	4	6	13	7	4	2	0	39
2018	6	1	4	3	4	0	1	8	2	3	1	3	36
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112		583

開始(2011/1/9)から2022年2月28日までの累計1,025人

表4 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

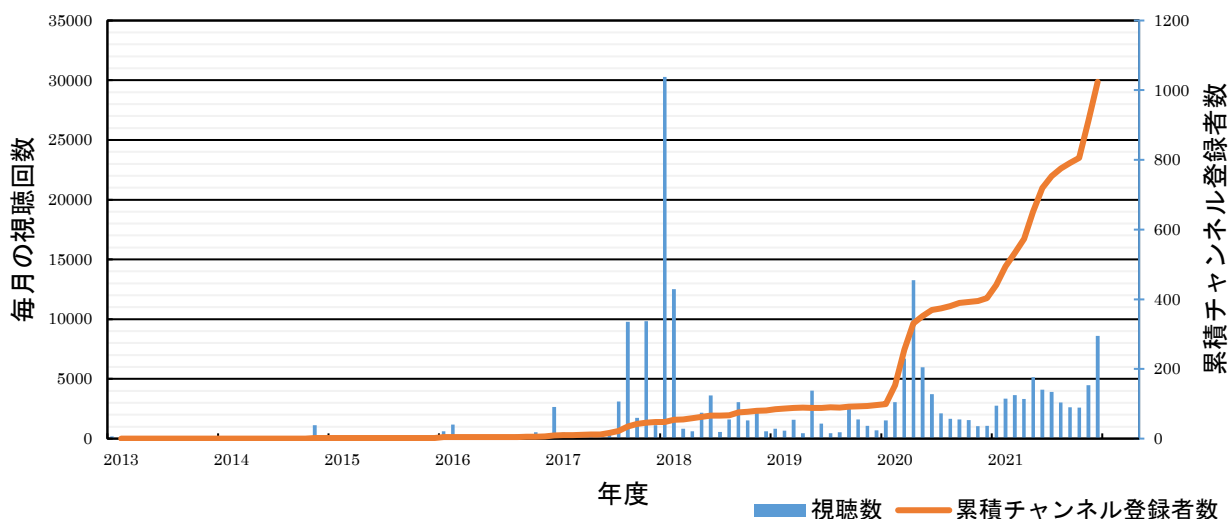


表5 「5分でわかる平塚学入門」(HIRAHAKU) 公開進捗率 (11/19 現在)

	全	終了	残	完了率
天文	10	8	2	80.0%
地質	14	10	4	71.4%
生物	6	5	1	83.3%
歴史	13	11	2	84.6%
考古	10	8	2	80.0%
民俗	20	12	8	60.0%
歴史・天文	1	1	0	100.0%
歴史・地質	2	0	2	0.0%
	76	40	36	72.4%

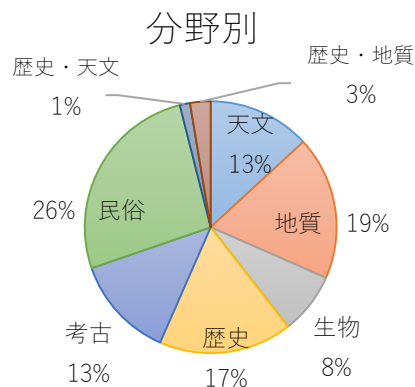
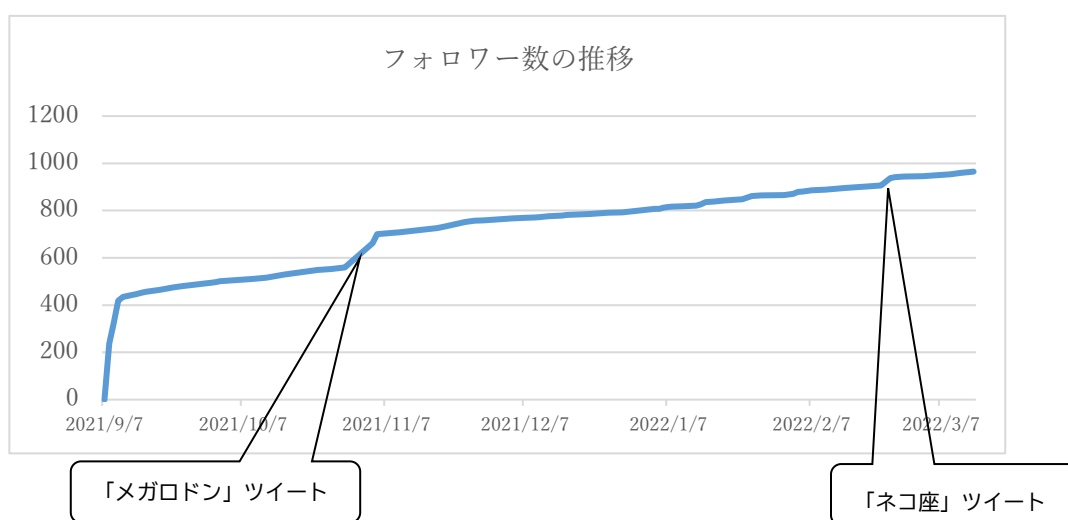


表6 「おうちで楽しむ はくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (3/10 現在)

視聴回数	アップ日	視聴数
1 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	6,656
2 「鎌倉殿と平塚の七人」第1回 真田与一義忠	2022/1/23	4,527
3 おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	3,084
4 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/25	2,382
5 「鎌倉殿と平塚の七人」第2回 岡崎四郎義実	2022/2/20	1,742
6 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	1,414
7 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	1,154
8 5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/4/23	1,145
9 5分でわかる平塚学入門「金目川の治水」	2021/4/30	1,075
10 5分でわかる平塚学入門「須賀のボテイ」	2021/5/14	863

表7 平塚市博物館 (HIRAHAKU\_) Twitter

2021/9/7 新規開設。3/15 までに 353 ツイート発信。フォロワー数 560 人。



平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週 1 回投稿。3/15 までに 36 回投稿。登録者数 14,857 人 (12,038)

展 示

夏期特別展では、多数の剥製や写真・バードカービング作品を出展、市内に多様な野鳥が生息することを知ってもらうとともに、平塚の自然への関心を深めることを目的に開催します。秋期特別展では、日本各地に伝えられてきた“日本版星座”を広く紹介するとともに、それらの元となった民具の実物を展示し、日本人が星空をどのように捉えてきたのかを紹介します。春期特別展では、地質分野の成果を分かりやすく紹介します。「第22回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展などを開催します。

特別展	春期特別展 「掘り起こされた平塚Ⅳ」	2022	3月 19日	～	5月 8日
	夏期特別展 「野鳥愛」	2022	7月 21日	～	9月 4日
	秋期特別展 「星になった民具たち」	2022	10月 22日	～	1月 9日
	第22回博物館文化祭 ーワーキンググループ展示・活動報告会・実演ー	2023	2月 月上旬	～	2月 中旬
	春期特別展 (仮)「地質の基本」展	2023	3月 中旬	～	5月 月上旬

寄贈品 コーナー	民俗 「ハレの日の装い」	2022	2月 26日	～	4月 3日
	自然系 「新着資料展 ー自然分野ー」		4月 7日	～	5月 8日
	人文系 「新着資料展 ー人文分野ー」		5月 12日	～	6月 5日
	歴史 「空襲展」		6月 21日	～	7月 31日
	考古 「遺跡展」(社会教育課共催)		8月 4日	～	9月 7日
	全体 博物館実習生制作展示		9月 16日	～	9月 28日
	地質 (仮)「関東大震災から100年」(防災まちづくりの会と)		10月 1日	～	10月 30日
	生物 生物分野、展示内容未定		11月 3日	～	1月 9日
	天文 (仮)「改暦150年」		1月 13日	～	2月 26日
	民俗 民俗		3月 2日	～	4月 2日

情報 コーナー	天文 「星座”誕生”100年」	2022	3月 31日	～	5月 11日
	考古 ポスト特別展「掘り起こされた平塚Ⅳ」		5月 14日	～	6月 5日
	市史 内容検討中		6月 中旬	～	終期末定
	以下、内容未定				

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。8月は金曜日、幼児向け番組を投影します。当面は1日2回、32名の定員で実施します。感染状況が改善されれば、特別投影等も実施します。また、幼児団体投影・学習投影は市内の園・学校に限定し、予約制で水・木・金曜日午前中に実施します。

一般投影	一般向け投影 鎌倉武士が見た星空 ～吾妻鏡に残された天の記録	2022	2月 5日	～	4月 3日
	一般向け投影 ハッブルからジェームズウェーブへ ～宇宙望遠鏡新時代～		4月 9日	～	6月 5日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム		6月 18日	～	7月 17日
	一般向け投影 星空でバードウォッチング!? ～鳥の星座をめぐる～		7月 23日	～	8月 29日
	一般向け投影 月がとっても赤いから ～迫る皆既月食～		9月 3日	～	10月 30日
	一般向け投影 日本の星を見上げて ～星の和名の春夏秋冬～		11月 5日	～	12月 28日
	一般向け投影 2023年の天文現象	2023	1月 4日	～	1月 29日
	一般向け投影 母なる星・太陽		2月 4日	～	4月 2日
	幼児向け投影 ほしみるおじさん		4月 9日	～	毎土11時
	特別投影	星空散歩 (月初の土または日曜日)			
流れ星を数えよう		2022	8月 6日	・	12月 10日
星空の古代史「古墳に描かれた星空」		2023	1月 14日		

コンサート	シアトリカル・プラネタリウム（雑貨団、2回）	8月と	3月
	プラネタリウム・コンサート（2回程度）	未定	

## 各種普及行事

当面の間、すべての行事を事前申込制で実施します。

申込制 行事	考古	夏イベント	2022 7月 31日 日
		考古学入門講座（2回）	2022 10月23日と11月20日の日曜
	歴史	郷土史入門講座（3回）	2023 1月・2月・3月の日曜
		民俗	石仏めぐり
	体験学習「お飾りをつくろう」		2022 12月 3日 土
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」（3回）	
		体験学習「サメの歯化石のレプリカをつくろう」（年間4回程度）	
	生物	自然教室（7回）	2022 4月 16日 ～ 3月 11日
		きのこの観察会	2022 10月 20日
	天文	星を見る会（10回）	2022 4月 22日 ～ 3月 3日
		天文学入門講座（4回）	2022 5月 ～ 8月
		望遠鏡を作って月食を観察しよう（2回）	2022 8月 2回
		不思議な板で万華鏡を作ろう（4回:当日整理券）	2022 7月 下旬 の 平日
		星座早見盤を作ろう（3回）	2022 4月 23日 ～ 8月 18日
		フィルムケースロケットを作ろう、かさぶくろケットを作ろう	2022 9月 10日
		最新天文学講座（3回程度）	2022 初回は4月9日
	総合	博物館ぶたいらツアーこどもスペシャル	2022 4月 29日
		平塚学講座	2022 未定

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回日曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ	毎月1回__土or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1～2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	毎月1・3木曜日

## その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2022 6月 上旬 ～ 6月 中旬
設備改修のための休館	2022 12月 中旬 12月 下旬
博物館実習	2022 9月 上旬 ～ 9月 中旬

\* 新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。